

ソマリア便り

～第一号～

みなさん、こんにちは。

2015年7月から UNFPA ソマリア事務所で母子栄養プログラムアシスタントとして活動している前原真澄と申します。これから UNFPA ソマリア事務所の活動について日本の皆さんにも情報発信していければと思っております。今回は私の主な業務内容を紹介したいと思います。

業務内容

私の主な業務内容は大きく4つに分けられます。

1. 医療制度強化プロジェクトマネジメント
2. UNFPA ソマリア事務所の活動の情報発信
3. 改革・革新案提案
4. ソマリアでの死産の原因をさぐるためのパイロットスタディ

医療制度強化プロジェクトマネジメント

ソマリアでは高妊産婦死亡率がもっとも重大な課題の一つです。最新のデータによると、ソマリアの女性は約120人に1人の割合で妊娠出産に関わる理由が原因で亡くなっています。それにともない新生児の死亡率も高くなっています。このため UNFPA ソマリア事務所では妊産婦と新生児の罹患・死亡率減少を目指して医療制度強化プロジェクトをはじめました。このプロジェクトは日本政府の補正予算でご支援いただいています。このプロジェクトでの私の役目は主に Monitoring and Evaluation です。月ごとに産前産後ケアに来たクライアント数や家族計画のために避妊薬・避妊具を使った女性の数、分娩、性感染症ケア、栄養サポートなど、ヘルスクリニックや病院での様々なサービスの利用状況について毎月データを送ってもらい報告書を書きます。また三ヶ月に一度現地へ行ってクリニック訪問をしたり、助産師や看護師を招いてワークショップを開き彼らが日々感じている問題点や改善点を共有したりしています。2016年からは病院などの施設内だけでなく、もっと幅広く生殖に関する健康のためのケアを提供するためにアウトリーチ活動を通してコミュニティに介入していこうと予定しています。私は公衆衛生栄養士なので、助産師のために母子栄養についてのトレーニングも行う予定です。

UNFPA ソマリア事務所の活動の情報発信

また UNFPA ソマリア事務所の活動の可視性を高めるためにツイッターで情報発信もしています。日本の皆さんにもソマリアのこと、UNFPA ソマリア事務所の活動をもっと知ってもらいたく、日本語でもツイッター発信をしています。英語と日本語のほかにも様々な国から援助していただいているので、フランス語、オランダ語、中国語でもツイートされています。またプロフェ

SSIONALフォトグラファーを招いて UNFPA ソマリア事務所の活動の様子を写真に撮ってもらったり、ショートビデオクリップを作成したりしてもらいました。それらは随時公開される予定です。

改革・革新案提案

三つ目の業務内容である改革・革新案の提案は UNFPA ソマリア事務所の活動効率を改善するために大切な課題です。全世界で様々な人道的支援を必要とする人々が増える中、援助額は年々減少しています。財政難の中でもいかに効率よく、援助をソマリアの人々に届けていくか、といことは常にスタッフ一同が考えていることです。また日々研究は進んでいるので、最新の研究結果を取り入れ、エビデンスに基づいた介入方法を考えています。私たちの活動の中に様々なイノベーションを盛り込めるように日々勉強しながら案を考えています。

ソマリアでの死産の原因をさぐるためのパイロットスタディ

ソマリアでは高妊産婦死亡率のほかにも高死産率が問題となっています。プントランドという地域の総合病院のある月のデータによると、97件の出産のうち10件は死産という結果になってしまいました。死産は様々な原因が折り重なって起こりますが、極度の貧血が一つの大きな原因ではないかという仮定のもと、フィールドスタッフと協力して、極度の貧血の死産への効果量を調べるためにパイロットスタディをデザインしています。まずプロポーザルを作成し資金調達から始めなくてははいけません。その後三ヶ月間のデータ収集の監督、統計解析、研究結果発表、までがわたしの役目です。そのほかにも研究結果を基によりよい産前ケアを提供できるように新しいプロジェクトを提案したいとも考えています。

以上、私のおおまかな業務内容でした。ソマリアは不安定な政治状況のため、困難なことが多く、結果を自分の目で見るのが難しいですが、自分にできることを地道に続けていけたらと思っています。



日本から援助を受けているクリニックの訪問

助産師やその他のパートナーとのワークショップ

2016年1月6日

前原真澄 (UNFPA ソマリア事務所プログラムアシスタント)